

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（柏崎刈羽原子力発電所7号炉 設計及び工事の計画）【291】
2. 日 時：令和2年8月19日 10時00分～12時10分、
14時00分～16時30分
3. 場 所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

名倉安全管理調査官、江崎企画調査官、植木主任安全審査官、
宇田川主任安全審査官、岸野主任安全審査官、津金主任安全審査官、
羽場崎主任安全審査官、三浦主任安全審査官、服部安全審査専門職、
山浦技術参与

事業者：

東京電力ホールディングス株式会社

原子力設備管理部 建築総括担当部長 他29名※

5. 要旨

(1) 東京電力ホールディングス株式会社から、柏崎刈羽原子力発電所7号機の工事計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書について、令和2年7月13日、8月7日、8月14日、8月17日及び8月18日提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【改造工事に伴う重量増加を反映した検討】

- 機器・配管系の耐震性への影響検討方法について、簡易評価と詳細評価方法の詳細及び位置付けを説明すること。
- 改造工事に伴う重量増加について、原子炉建屋以外の建屋の状況を踏まえ、原子炉建屋及びその機器・配管系に影響検討の対象とするものの考え方を整理し説明すること。

【下位クラス施設の波及的影響の検討について】

- 6号機の原子炉建屋及びタービン建屋の地震応答性状が7号機の原子炉建屋及びタービン建屋と同じ傾向になることを、固有値の比較等により定量的に説明すること。

【原子炉格納容器コンクリート部の耐震計算書】

- 温度分布解析について、温度荷重算定部位毎に定常、非定常の条件並

びに1次元モデル、2次元モデル及び理論解のどの手法を用いたのかについて説明すること。

- 温度分布解析で用いる材料の物性値について、熱伝達率についても説明すること。

【原子炉格納容器コンクリート部の耐震計算書補足説明資料】

- 補助壁及び中間壁の有無にかかわらず各階床スラブの半径方向の変位が殆ど変わらない理由について説明すること。

【格納容器圧力逃がし装置基礎の地震応答計算書補足説明資料】

- 隣接建屋を考慮した場合の杭の最大応答せん断力が、考慮しない場合に比べて1.47倍になる理由について、隣接建屋の有無による杭の応答性状への影響を踏まえて説明すること。

【工事計画に係る説明資料（発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書）】

- 復水器本体移動による接触影響評価について、全体構造を踏まえた評価部位の詳細を説明すること。また、補強の目的及び構造を説明すること。

(3) 東京電力ホールディングス株式会社から、本日の説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他
なし